

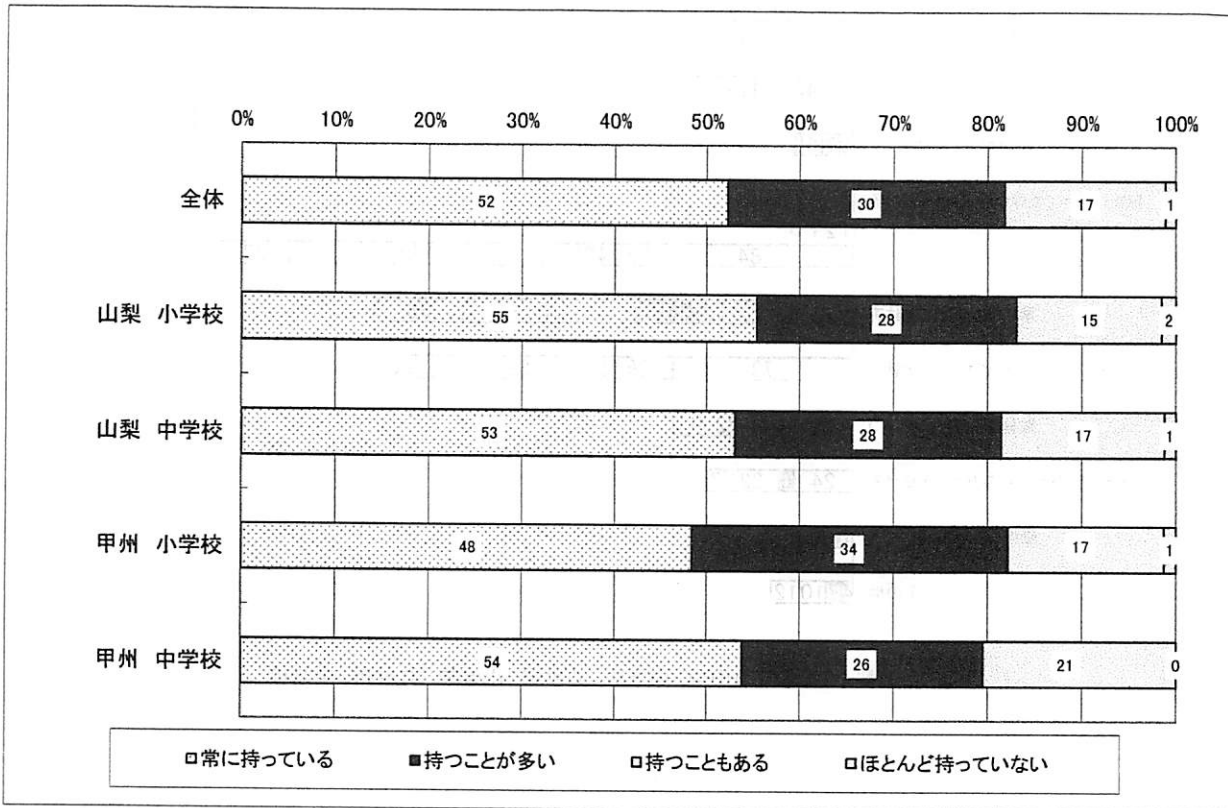
IV 教職員の健康と労働

調査年月 2019年12月

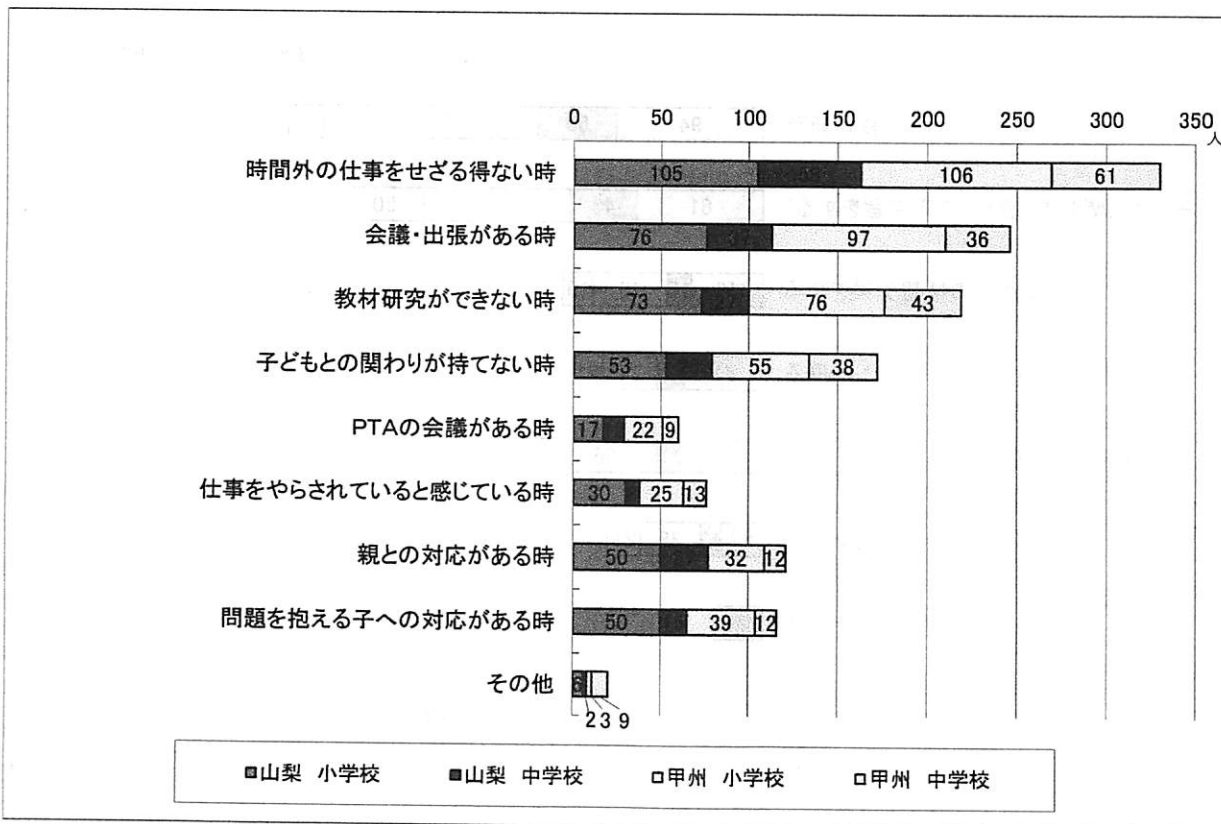
調査対象 東山梨全教職員

回答数 446人

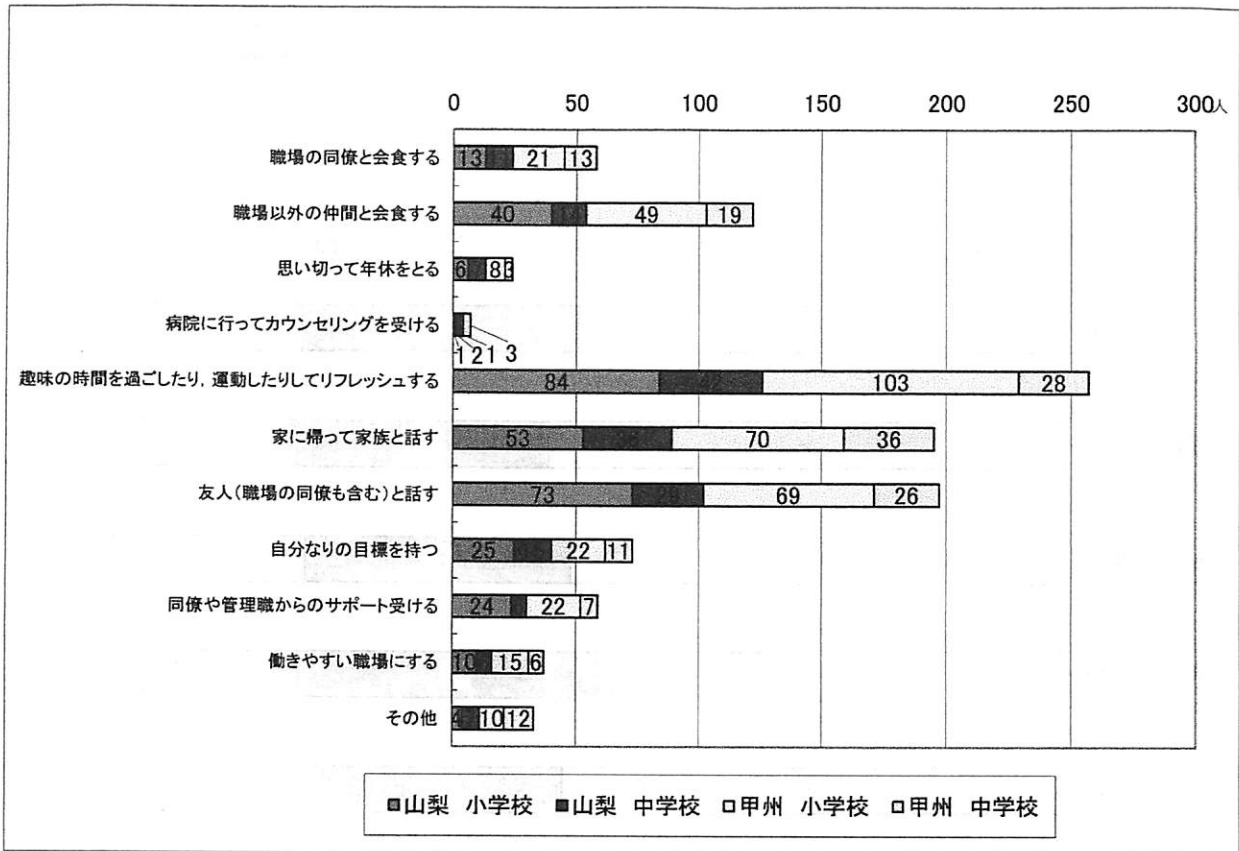
(1) 勤務の中に多忙感を持っていますか（1つのみで回答）



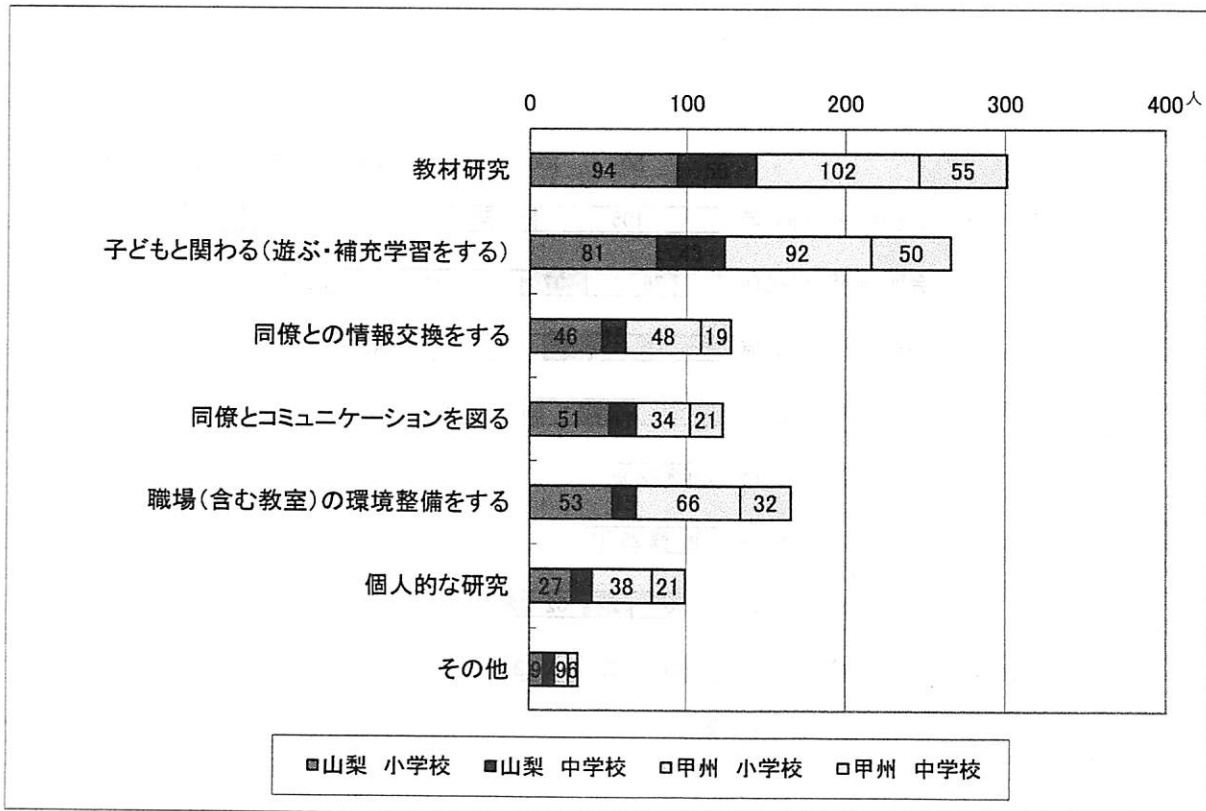
(2) 多忙感を持つときは主にどんな時ですか（回答数自由）



(3) あなたの多忙感を解消する方法は何ですか (回答数自由)



(4) 多忙感が解消されたら、その分充実させたいことは何ですか (回答数自由)



※その他の項目

(2) 多忙感を持つときは主にどんな時ですか (回答数自由)

ケ その他

- ・複数の仕事を並行しなければいけないときや期日に追われているとき。
- ・アンケート等、調査に時間を取られるとき。
- ・兼務。
- ・学校行事や研究授業等、分掌や役割分担がなくても協力をする必要がある。支え合いで当然のことではあるが、自分の仕事と他の先生への協力とのバランスが難しい。
- ・部活動や仕事などで休日出勤が続き、自分の子どもとの時間が取れていないとき。
- ・常に多忙感がある。
- ・何日も自分の子どもに会えないとき。
- ・家庭との両立を図らなければならないから。

(3) あなたの多忙感を解消する方法は何ですか (回答数自由)

- ・我慢している。2
- ・早く帰る。
- ・特に何もしていない。3
- ・ひたすら仕事を消化していく。2
- ・休日に仕事をして解消。2
- ・解消できていない。4
- ・休日でも緊急の際出勤するのは、公務員である以上理解している。しかし、何もない休日が少ないことと何もない時間でも仕事のことが頭から離れない。期限に追われている切迫感が多忙感につながっている。
- ・寝る。
- ・飲酒。

(4) 多忙感が解消されたら、その分充実させたいことは何ですか (回答数自由)

- ・自分の時間を確保。年休を取る。
- ・寝る。
- ・毎年、授業か学級経営か部活動か生徒会行事どれかに集中したいと思っている。すべてがまんべんなく入ってくるので、どれかを犠牲にしなければならない。犠牲にはしたくないので、すべてに力を注ぐと1日24時間では足りない。多忙感が解消されればすべてに力を入れたいし、解消されなければ何かを犠牲にするしかない。
- ・早く帰る。
- ・休む。
- ・個人的な余暇の時間として過ごす。
- ・家族との時間。
- ・リフレッシュ。